kinki
農林水産統計
Statistics of Agriculture,Forestry and Fisheries

農林水産省
近畿農政局
令和８年10月13日公表

作物統計調査
令和８年産水稲の作付面積及び９月25日現在の予想収穫量（近畿）

近畿の令和８年産主食用米の予想収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースでは 47 万 3,700 トン（前年産に比べ 200 トンの減少）、ふるい目幅 1.70 ㎜ベースで 49 万 1,600 トン（前年産に比べ 1,100 トンの減少）の見込み。

【調査結果の概要】

１　近畿の令和８年産水稲の９月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜、1.85㎜、1.90㎜）ベースの予想収穫量（主食用）※1は47万3,700ｔで、前年産に比べ200ｔ減少と見込まれる。

※１　生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜、1.90㎜ベースのふるい上米。

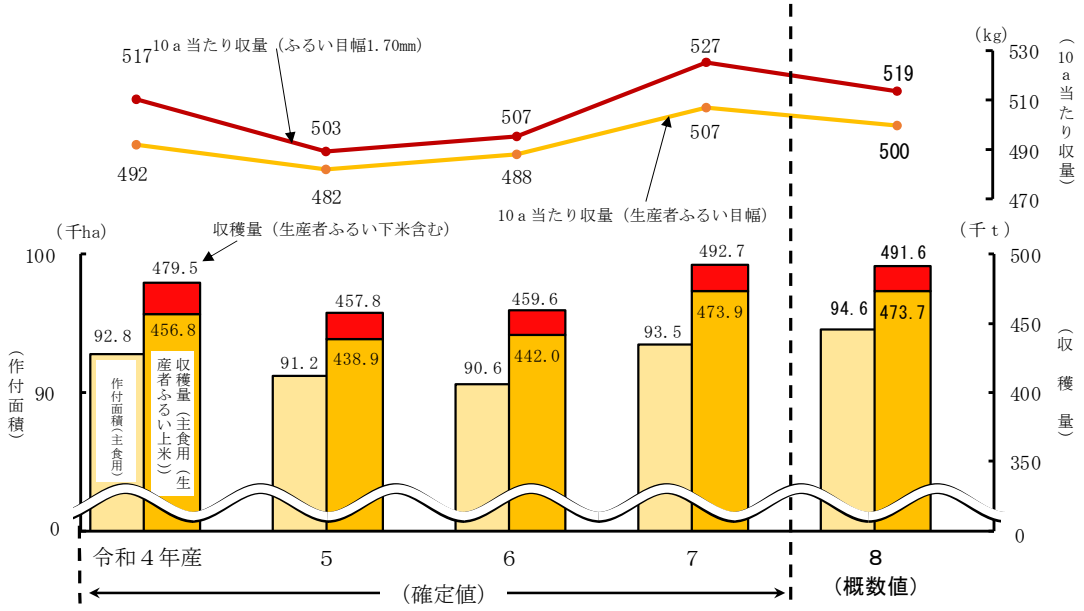
これは、作付面積（主食用）が９万4,600haで前年産に比べ1,100ha増加と見込まれるものの、９月25日現在における10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）が500kgで前年産に比べ７kg減少と見込まれるためである。

２　近畿の作況単収指数は103と見込まれる。

３　近畿の令和８年産水稲の９月25日現在における10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は519kgで前年産に比べ８kg減少と見込まれる。また、ふるい目幅1.70㎜ベースの予想収穫量（主食用）※2は49万1,600ｔで前年産に比べ1,100ｔ減少と見込まれる。

※２　生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜、1.90㎜ベースのふるい下米を含む。

図　水稲の作付面積（主食用）、10ａ当たり収量及び収穫量の推移（近畿）



○　作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（９月15日時点）を除いた面積である（12ページ【参考１】参照）。
○　10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和８年産は予想）。
○　10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70㎜で選別された玄米の重量である（令和８年産は予想）。
○　10ａ当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
○　作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10ａ当たり収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に対する10ａ当たり収量の比率である。

◎　累年データ

水稲の年次別推移

１　近畿

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）	主食用	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
			10ａ当たり収量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	107,000	100,500	505	102	508,400	…	516	102	519,000
29	106,000	99,400	498	99	494,700	…	510	99	507,000
30	105,800	99,500	489	98	486,200	…	502	98	498,700
令和元	105,200	99,000	491	100	486,200	…	503	100	498,000
2	104,100	97,700	465	95	454,100	…	490	97	478,000
3	103,000	95,700	479	103	459,000	…	503	103	481,800
4	100,900	92,800	492	103	456,800	…	517	103	479,500
5	99,300	91,200	482	98	438,900	…	503	97	457,800
6	98,000	90,600	488	101	442,000	…	507	101	459,600
7	98,400	93,500	507	104	473,900	105	527	104	492,700
8（概数値）	**99,100**	**94,600**	**500**	**99**	**473,700**	**103**	**519**	**98**	**491,600**

資料：農林水産省統計部『作物統計』（２～７の統計表において同じ。）
注：１　作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積である。
２　作付面積（主食用）とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
３　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和８年産は予想）。
４　生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。
平成28年産から令和元年産まで：　全国農業地域ごとに、過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である（近畿1.80㎜）。
令和２年産以降　：　都道府県ごとに、過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である（滋賀県1.90㎜、京都府1.85㎜、大阪府1.80㎜、兵庫県1.85㎜、奈良県1.80㎜、和歌山県1.80㎜）。
５　作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10ａ当たり収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に対する10ａ当たり収量の比率である。
６　「…」は事実不詳であることを示している。

2　滋賀県

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）	主食用	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
			10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	33,000	30,200	525	104	158,600	…	534	103	161,300
29	32,900	30,000	504	96	151,200	…	517	97	155,100
30	32,900	30,100	501	99	150,800	…	512	99	154,100
令和元	32,900	30,200	498	99	150,400	…	509	99	153,700
2	32,400	29,700	475	95	141,100	…	509	100	151,200
3	32,100	28,900	483	102	139,600	…	519	102	150,000
4	31,400	27,700	487	101	134,900	…	523	101	144,900
5	30,600	27,000	470	97	126,900	…	504	96	136,100
6	30,300	27,400	484	103	132,600	…	517	103	141,700
7	30,700	29,300	505	104	148,000	105	536	104	157,000
8（概数値）	31,800	30,400	501	99	152,300	103	527	98	160,200

3　京都府

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）	主食用	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
			10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	15,100	14,300	507	101	72,500	…	516	101	73,800
29	14,900	14,100	501	99	70,600	…	510	99	71,900
30	14,700	13,900	491	98	68,200	…	502	98	69,800
令和元	14,600	13,800	495	101	68,300	…	505	101	69,700
2	14,500	13,800	484	98	66,800	…	501	99	69,100
3	14,400	13,600	486	100	66,100	…	504	101	68,500
4	14,300	13,400	497	102	66,600	…	514	102	68,900
5	14,100	13,200	489	98	64,500	…	502	98	66,300
6	13,900	13,000	512	105	66,600	…	527	105	68,500
7	13,800	13,200	520	102	68,600	106	536	102	70,800
8（概数値）	13,600	13,000	515	99	67,000	103	525	98	68,300

4　大阪府

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）	主食用	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
			10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	5,320	5,310	491	103	26,100	…	505	102	26,800
29	5,160	5,150	490	100	25,200	…	506	100	26,100
30	5,010	5,000	475	97	23,800	…	494	98	24,700
令和元	4,860	4,850	485	102	23,500	…	502	102	24,300
2	4,710	4,700	448	92	21,100	…	472	94	22,200
3	4,630	4,620	476	106	22,000	…	490	104	22,600
4	4,550	4,540	489	103	22,200	…	503	103	22,800
5	4,450	4,430	489	100	21,700	…	503	100	22,300
6	4,300	4,290	472	97	20,200	…	483	96	20,700
7	4,100	4,100	481	102	19,700	100	491	102	20,100
8（概数値）	4,000	4,000	499	104	20,000	104	512	104	20,500

5　兵庫県

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）		生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
		主食用	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	38,000	35,400	490	100	173,500	…	501	100	177,400
29	37,700	35,100	489	100	171,600	…	501	100	175,900
30	38,000	35,500	479	98	170,000	…	492	98	174,700
令和元	37,900	35,300	484	101	170,900	…	497	101	175,400
2	37,600	34,800	455	94	158,300	…	477	96	166,000
3	37,200	34,100	468	103	159,600	…	491	103	167,400
4	36,200	32,800	487	104	159,700	…	513	104	168,300
5	36,000	32,500	478	98	155,400	…	497	97	161,500
6	35,700	32,200	475	99	153,000	…	491	99	158,100
7	36,400	33,600	498	105	167,300	105	516	105	173,400
8（概数値）	36,500	34,000	491	99	166,900	102	511	99	173,700

6　奈良県

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）		生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
		主食用	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	8,830	8,680	512	102	44,400	…	525	102	45,600
29	8,730	8,580	508	99	43,600	…	521	99	44,700
30	8,660	8,530	499	98	42,600	…	514	99	43,800
令和元	8,560	8,450	502	101	42,400	…	515	100	43,500
2	8,540	8,430	462	92	38,900	…	482	94	40,600
3	8,520	8,400	502	109	42,200	…	512	106	43,000
4	8,510	8,350	512	102	42,800	…	522	102	43,600
5	8,350	8,200	507	99	41,600	…	517	99	42,400
6	8,070	7,960	517	102	41,200	…	526	102	41,900
7	7,810	7,750	526	102	40,800	104	535	102	41,500
8（概数値）	7,580	7,510	514	98	38,600	100	526	98	39,500

7　和歌山県

年　産	作付面積（青刈り面積を含む。）		生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70㎜で選別		
		主食用	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	作況単収指数	10ａ当たり収　量	対前年産比	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成28年産	6,720	6,720	496	102	33,300	…	507	102	34,100
29	6,560	6,560	496	100	32,500	…	507	100	33,300
30	6,430	6,430	479	97	30,800	…	492	97	31,600
令和元	6,360	6,360	482	101	30,700	…	494	100	31,400
2	6,250	6,250	446	93	27,900	…	462	94	28,900
3	6,100	6,100	484	109	29,500	…	497	108	30,300
4	5,990	5,980	511	106	30,600	…	519	104	31,000
5	5,790	5,780	498	97	28,800	…	506	97	29,200
6	5,690	5,680	500	100	28,400	…	506	100	28,700
7	5,600	5,600	526	105	29,500	106	534	106	29,900
8（概数値）	5,620	5,610	515	98	28,900	102	524	98	29,400

【調査結果】

1　近畿

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は９万9,100haで前年産に比べ700haの増加が見込まれる。

　また、水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は９万4,600haで前年産に比べ1,100haの増加が見込まれる。

(2)　９月25日現在における近畿の水稲の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、500kg（前年産に比べ△７kg）と見込まれる。

　これを府県別にみると、滋賀県は501kg（前年産に比べ△４kg）、京都府は515kg（同△５kg）、大阪府は499kg（同＋18kg）、兵庫県は491kg（同△７kg）、奈良県は514kg（同△12kg）、和歌山県は515kg（同△11kg）と見込まれる。

(3)　生産者が使用しているふるい目幅ベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は47万3,700ｔ（前年産に比べ200ｔ減少）と見込まれる。

(4)　近畿の作況単収指数は103と見込まれる。

　これを府県別にみると、滋賀県が103、京都府が103、大阪府が104、兵庫県が102、奈良県が100、和歌山県が102と見込まれる。

(5)　９月25日現在における10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は、519kg（前年産に比べ△８kg）と見込まれる。また、ふるい目幅1.70㎜ベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は49万1,600ｔ（前年産に比べ1,100ｔ減少）と見込まれる。

表１　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（近畿）

農業地域・府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					作況単収指数	ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量 実数②	10ａ当たり予想収量 前年産との比較	予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米）） 実数③＝①×②	予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米）） 前年産との比較			10ａ当たり予想収量 実数④	10ａ当たり予想収量 前年産との比較	予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む）） 実数⑤＝①×④	予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む）） 前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比			対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%		kg	%	t	t	%
近畿	94,600	1,100	101	500	99	473,700	△ 200	100	103	519	98	491,600	△1,100	100
滋賀	30,400	1,100	104	501	99	152,300	4,300	103	103	527	98	160,200	3,200	102
京都	13,000	△ 200	98	515	99	67,000	△1,600	98	103	525	98	68,300	△2,500	96
大阪	4,000	△ 100	98	499	104	20,000	300	102	104	512	104	20,500	400	102
兵庫	34,000	400	101	491	99	166,900	△ 400	100	102	511	99	173,700	300	100
奈良	7,510	△ 240	97	514	98	38,600	△2,200	95	100	526	98	39,500	△2,000	95
和歌山	5,610	10	100	515	98	28,900	△ 600	98	102	524	98	29,400	△ 500	98

注：1　作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

2　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり予想収量（②）については、府県ごとに、過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

4　10ａ当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

5　近畿の予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））については府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

6　作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10ａ当たり収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に対する10ａ当たり収量の比率である。

7　「△」は、減少したものを示している（以下同じ。）。

２　滋賀県

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は３万1,800ha（前年産に比べ1,100ha増加）と見込まれる。

また、主食用作付面積は３万400ha（前年産に比べ1,100ha増加）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、「前年並み」となった。これは、生育期間を通して天候に恵まれ、穂数が早生品種中心に分げつが旺盛となって前年に比べ「やや多い」となったこと、１穂当たりもみ数が穂数増加による相反作用で「やや少ない」となったこと等による。

千もみ当たり収量（登熟）は、出穂期以降おおむね天候に恵まれていること、９月の天候不順で刈り取りが遅れ気味で登熟期間が長めとなっていることなどから前年に比べ「やや多い」と見込まれる。

このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は501kg（前年産に比べ△４kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、湖南511kg（前年産に比べ＋５kg）、湖北480kg（同△24kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は15万2,300ｔ（前年産に比べ4,300ｔ増加）と見込まれる。

(4)　滋賀県の作況単収指数は103と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は湖南が104、湖北が103と見込まれる。

(5)　９月25日現在の10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は527kg（前年産に比べ△９kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、湖南が539kg（前年産に比べ＋１kg）、湖北が503kg（同△29kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は16万200ｔ（前年産に比べ3,200ｔ増加）と見込まれる。

表２　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（滋賀県）

府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数 ①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））		
				実数 ②	前年産との比較	実数 ③＝①×②	前年産との比較		実数 ④	前年産との比較	実数 ⑤＝①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
滋賀	30,400	1,100	104	501	99	152,300	4,300	103	527	98	160,200	3,200	102

表３　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、作柄表示地帯別10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（滋賀県）

府県・作柄表示地帯	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量（1.90㎜）	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	１穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
滋賀	31,800	1,100	104	501	99	103	527	98	やや多い	やや少ない	前年並み	やや多い
湖南	…	nc	nc	511	101	104	539	100	やや多い	前年並み	前年並み	やや多い
湖北	…	nc	nc	480	95	103	503	95	多い	少ない	前年並み	前年並み

注：「…」は調査を欠くもの、「nc」は計算不能を示している（以下同じ。）。

3　京都府

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は１万3,600ha（前年産に比べ200ha減少）と見込まれる。

また、主食用作付面積は１万3,000ha（前年産に比べ200ha減少）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、前年に比べ「やや少ない」となった。これは、生育期間を通しておおむね天候に恵まれたものの、穂数が分げつの促進で多くなった前年に比べ「やや少ない」となったこと、１穂当たりもみ数が「前年並み」となったこと等による。

千もみ当たり収量（登熟）は、もみ数がやや少なくなったことに伴う補償作用等で前年に比べ「やや多い」と見込まれる。

このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は515kg（前年産に比べ△５kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、南部が540kg（前年産に比べ△３kg）、北部が490kg（同△７kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は６万7,000ｔ（前年産に比べ1,600ｔ減少）と見込まれる。

(4)　京都府の作況単収指数は103と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は南部が104、北部が101と見込まれる。

(5)　９月25日現在の10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は525kg（前年産に比べ△11kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、南部が548kg（前年産に比べ△12kg）、北部が503kg（同△９kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は６万8,300ｔ（前年産に比べ2,500ｔ減少）と見込まれる。

表４　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（京都府）

府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数 ①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい上米)）			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい下米含む)）		
				実数 ②	前年産との比較	実数 ③=①×②	前年産との比較		実数 ④	前年産との比較	実数 ⑤=①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
京都	13,000	△200	98	515	99	67,000	△1,600	98	525	98	68,300	△2,500	96

表５　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、作柄表示地帯別10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（京都府）

府県・作柄表示地帯	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量(1.85㎜)	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	１穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
京都	13,600	△200	99	515	99	103	525	98	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い
南部	…	nc	nc	540	99	104	548	98	やや少ない	やや少ない	少ない	多い
北部	…	nc	nc	490	99	101	503	98	やや少ない	前年並み	やや少ない	前年並み

４　大阪府

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は4,000ha（前年産に比べ100ha減少）と見込まれる。

また、主食用作付面積は4,000ha（前年産に比べ100ha減少）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、「前年並み」となった。これは、６月下旬以降天候に恵まれ、分げつが促進されたことから、穂数は「前年並み」となったこと、１穂当たりもみ数が前年に比べ「やや多い」となったこと等による。

千もみ当たり収量（登熟）は、「前年並み」と見込まれる。

このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は499kg（前年産に比べ＋18kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は２万ｔ（前年産に比べ300ｔ増加）と見込まれる。

(4)　大阪府の作況単収指数は104と見込まれる。

(5)　９月25日現在の10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は512kg（前年産に比べ＋21kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は２万500ｔ（前年産に比べ400ｔ増加）と見込まれる。

表６　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（大阪府）

府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数 ①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい上米)）			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい下米含む)）		
				実数 ②	前年産との比較	実数 ③=①×②	前年産との比較		実数 ④	前年産との比較	実数 ⑤=①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
大阪	4,000	△100	98	499	104	20,000	300	102	512	104	20,500	400	102

表７　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（大阪府）

府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量（1.80㎜）	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	１穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
大阪	4,000	△100	98	499	104	104	512	104	前年並み	やや多い	前年並み	前年並み

5　兵庫県

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は３万6,500ha（前年産に比べ100ha増加）と見込まれる。

　また、主食用作付面積は３万4,000ha（前年産に比べ400ha増加）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、前年に比べ「やや少ない」となった。これは、生育期間を通しておおむね天候に恵まれたものの、穂数が分げつの促進で多くなった前年に比べ「やや少ない」となったこと、１穂当たりもみ数が「前年並み」となったこと等による。

　千もみ当たり収量（登熟）は、もみ数がやや少なくなったことに伴う補償作用等で前年に比べ「やや多い」と見込まれる。

　このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は491kg（前年産に比べ△７kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、県南が492kg（前年産に比べ△９kg）、県北が481kg（同△４kg）、淡路が495kg（同△３kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は16万6,900ｔ（前年産に比べ400ｔ減少）と見込まれる。

(4)　兵庫県の作況単収指数は102と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は県南が102、県北が101、淡路が102と見込まれる。

(5)　９月25日現在の10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は511kg（前年産に比べ△５kg）と見込まれる。作柄表示地帯別の10ａ当たり予想収量（同）は、県南が512kg（前年産に比べ△６kg）、県北が493kg（同△８kg）、淡路が524kg（同△１kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は17万3,700ｔ（前年産に比べ300ｔ増加）と見込まれる。

表８　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（兵庫県）

府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい上米)）			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい下米含む)）		
				実数②	前年産との比較	実数③=①×②	前年産との比較		実数④	前年産との比較	実数⑤=①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
兵庫	34,000	400	101	491	99	166,900	△400	100	511	99	173,700	300	100

表９　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、作柄表示地帯別10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（兵庫県）

府県・作柄表示地帯	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量(1.85㎜)	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
兵庫	36,500	100	100	491	99	102	511	99	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い
県南	…	nc	nc	492	98	102	512	99	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い
県北	…	nc	nc	481	99	101	493	98	少ない	やや多い	やや少ない	やや多い
淡路	…	nc	nc	495	99	102	524	100	やや多い	やや少ない	やや少ない	やや多い

６　奈良県

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は7,580ha（前年産に比べ230ha減少）と見込まれる。

また、主食用作付面積は7,510ha（前年産に比べ240ha減少）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、前年に比べ「やや少ない」となった。これは、１穂当たりもみ数が「前年並み」となったものの、穂数が分げつの促進でやや多くなった前年に比べ「やや少ない」となったこと等による。

千もみ当たり収量（登熟）は、出穂期以降曇天で経過しているものの、穂数減少に伴う補償作用が見込まれること等から「前年並み」と見込まれる。

このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は514kg（前年産に比べ△12kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は３万8,600ｔ（前年産に比べ2,200ｔ減少）と見込まれる。

(4)　奈良県の作況単収指数は100と見込まれる。

(5)　９月25日現在における10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は526kg（前年産に比べ△９kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は３万9,500ｔ（前年産に比べ2,000ｔ減少）と見込まれる。

表10　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（奈良県）

府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい上米)）			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい下米含む)）		
				実数②	前年産との比較	実数③=①×②	前年産との比較		実数④	前年産との比較	実数⑤=①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
奈良	7,510	△240	97	514	98	38,600	△2,200	95	526	98	39,500	△2,000	95

表11　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（奈良県）

府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量(1.80㎜)	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	１穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
奈良	7,580	△230	97	514	98	100	526	98	やや少ない	前年並み	やや少ない	前年並み

7　和歌山県

(1)　令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は5,620ha（前年産に比べ20ha増加）と見込まれる。

　また、主食用作付面積は5,610ha（前年産に比べ10ha増加）と見込まれる。

(2)　主な収量構成要素をみると、全もみ数は、「前年並み」となった。これは、穂数が分げつの促進で多くなった前年と比べ「やや少ない」となったこと、１穂当たりもみ数が天候に恵まれたことや穂数減少による補償作用等で「やや多い」となったこと等による。

　千もみ当たり収量（登熟）は、「やや少ない」と見込まれる。

　このことから、９月25日現在の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は515kg（前年産に比べ△11kg）と見込まれる。

(3)　主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は２万8,900ｔ（前年産に比べ600ｔ減少）と見込まれる。

(4)　和歌山県の作況単収指数は102と見込まれる。

(5)　９月25日現在における10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は524kg（前年産に比べ△10kg）と見込まれる。また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は２万9,400ｔ（前年産に比べ500ｔ減少）と見込まれる。

表12　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び９月25日現在の予想収穫量（和歌山県）

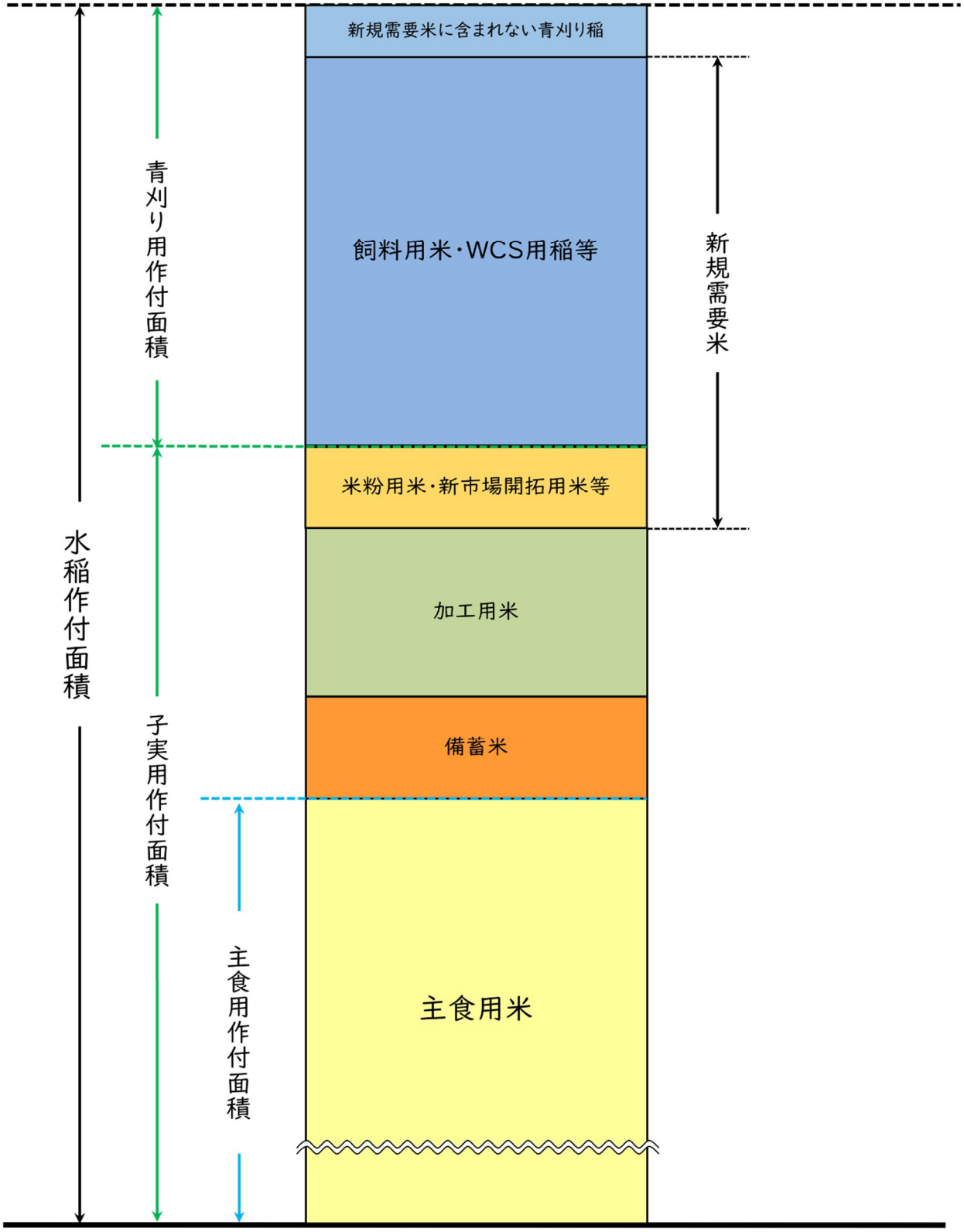
府県	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					ふるい目幅1.70㎜で選別				
	実数 ①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい上米)）			10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用(生産者ふるい下米含む)）		
				実数 ②	前年産との比較	実数 ③=①×②	前年産との比較		実数 ④	前年産との比較	実数 ⑤=①×④	前年産との比較	
		対差	対比		対比		対差	対比		対比		対差	対比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
和歌山	5,610	10	100	515	98	28,900	△600	98	524	98	29,400	△500	98

表13　水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）、10ａ当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較（９月25日現在）（和歌山県）

府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		主な収量構成要素（前年比較）			
	実数	前年産との比較		10ａ当たり予想収量（1.80㎜）	前年産との比較	作況単収指数	10ａ当たり予想収量	前年産との比較	穂数の多少	１穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり収量の多少
		対差	対比		対比			対比				
	ha	ha	%	kg	%		kg	%				
和歌山	5,620	20	100	515	98	102	524	98	やや少ない	やや多い	前年並み	やや少ない

【参考１】

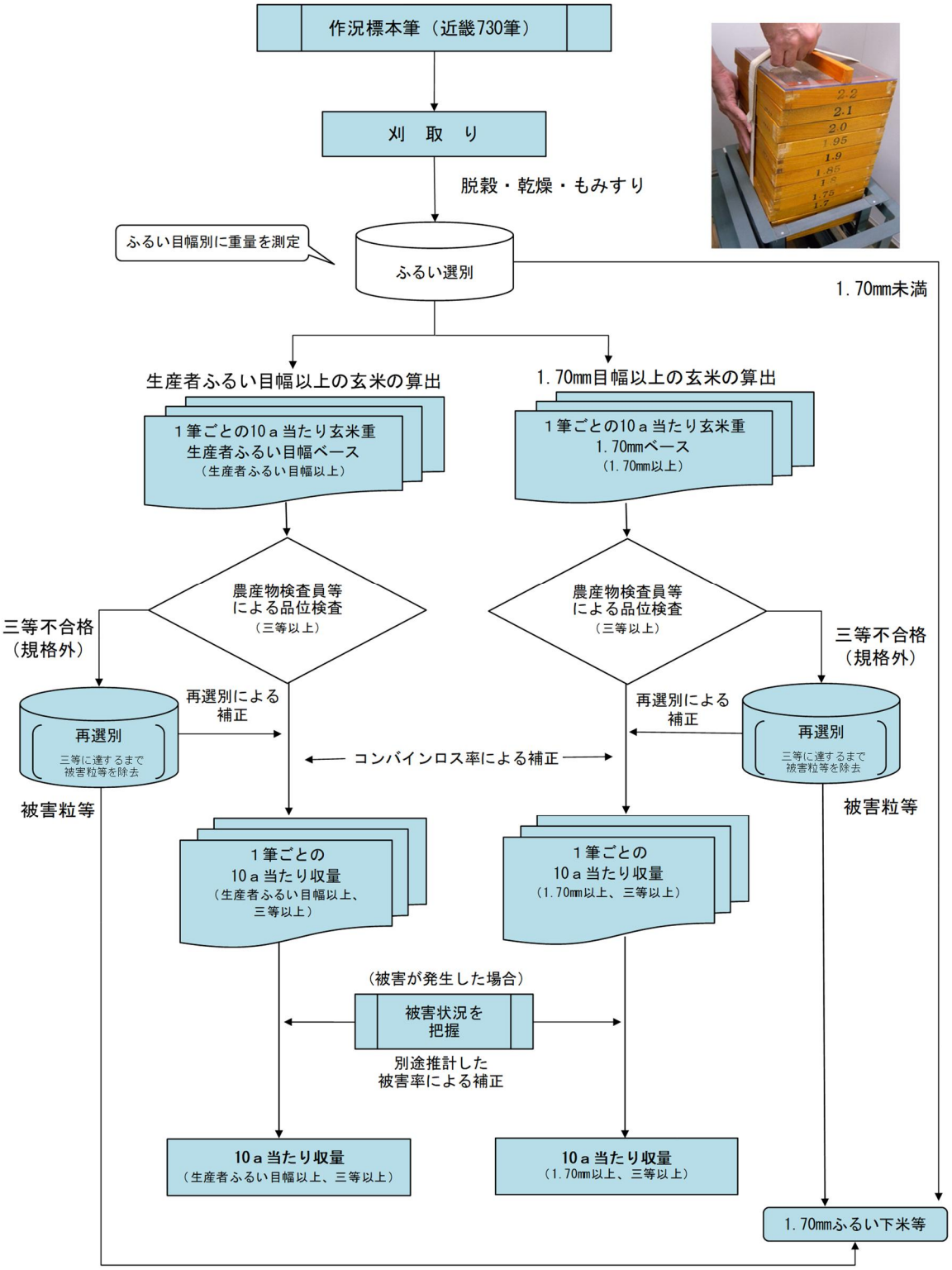
水稲作付面積の概念図



【参考２】

刈取り調査における10ａ当たり収量の算出方法

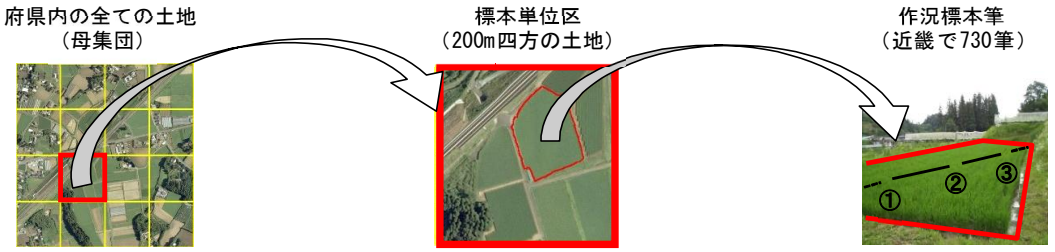
作況標本筆（【参考３】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10ａ当たり収量を算出している（下図参照）。



【参考３】

作 況 標 本 筆（ふで） と は

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（１枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（近畿で 730 筆）調査している。



１　府県ごとの全ての土地を 200m 四方に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

２　標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

３　各作況標本筆の対角線上の３カ所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに１㎡（合計３㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

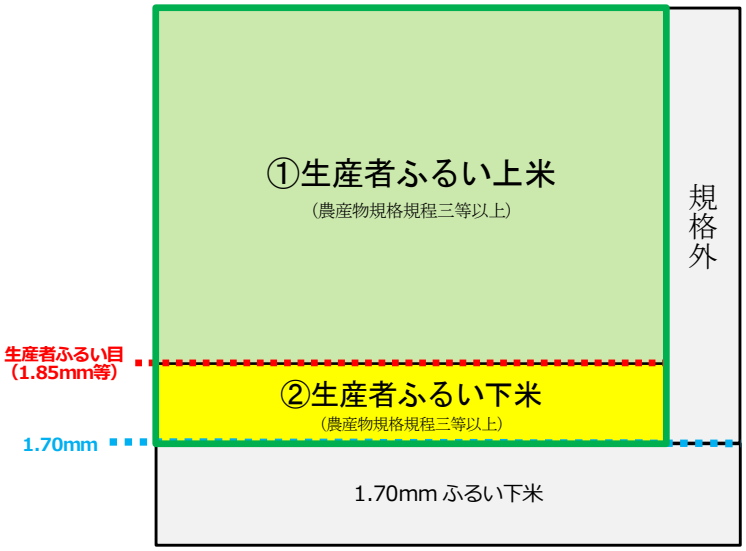
【参考４】

水稲収穫量調査の収穫量イメージ

①　収穫量（生産者ふるい上米）は、府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.80、1.85、1.90 ㎜）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。

②　収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70 ㎜以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。

③　収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/d/excel/08_suitou0925.xlsx

【調査の概要】

・ 面積調査

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【調査結果の主な利活用】

・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ウェブサイト掲載案内】

・ 本資料は、近畿農政局ウェブサイトの統計情報に掲載します。
https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/kouhyou.html
・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、農林水産省ウェブサイトに掲載（令和９年２月予定）します。
・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和８年11月中旬の予定です。
・ 公表した数値の正誤情報は、近畿農政局ウェブサイトに掲載します。
・ 本調査の全国の結果は、農林水産省ウェブサイトの統計情報に掲載します。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
https://www.maff.go.jp/j/nousan/

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

◎本統計調査結果について
近畿農政局統計部生産流通消費統計課
電話：（代表）075-451-9161　内線2652
（直通）075-414-9650

近畿農政局　滋賀県拠点　統計担当
電話：（直通）077-522-4344

近畿農政局　大阪府拠点　統計担当
電話：（直通）06-6941-9659

近畿農政局　兵庫県拠点　統計担当
電話：（直通）078-391-2873

近畿農政局　奈良県拠点　統計担当
電話：（直通）0742-32-1874

近畿農政局　和歌山県拠点　統計担当
電話：（直通）073-436-3835

◎農林水産統計全般について
近畿農政局統計部統計企画課
電話：（直通）075-414-9620

政府統計
政府統計の総合窓口
（e-Stat）
https://www.e-stat.go.jp/

SAFF
データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN
トゥンクトゥンク
2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷
©Expo2027

○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について
水稲生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。
以下の URL または右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。
https://minori-voice.maff.go.jp/lp/

○水稲収穫量調査の試行調査について
一部の水稲生産者の方々を対象に水稲収穫量調査の試行調査を実施しております。
調査時期　令和８年９月、10 月、11 月の３回
調査方法　統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか
オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第２次試行調査事務局により実施します。
お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。